＜市民討議用ドラフト（未完成版）＞ あなたの声で完成させる、7つの政策提案・第1次公開草案

【政策提案 No.7】地域創生！知多リア構想 ～10ピースの熱量でみんなで笑顔に～

【フロンティアスピリット】誰もが目指し、若者が住みたい街へ｜**【生活基盤・医療防衛】**安心して産み育て、健康に歳を重ねられる街へ ｜ **「自治体の広域連携」と「独自の文化づくり」**：ハコモノ競争を脱却し、心・体・運命、食・美・トキメキが調和するウェルビーイング拠点の創出と、太田川365日フェス・知多半島経済圏の確立

【概要（Executive Summary）】

少子高齢化が進む中、単一自治体のハコモノ誘致や近隣とのパイの奪い合いから脱却し、知多半島5市5町（10ピース）がスクラムを組む**広域連携モデル「知多リア構想」**を社会実装する。中部国際空港セントレアと名駅の結節点である太田川駅周辺を「知多リア・ゲートウェイ」と位置づけ、「太田川365日フェスのある街（マルシェ・音楽・占い横丁等）」を創出して世界・全国からの途中下車を促進。同時に、**大府市の国立長寿医療研究センター（ウェルネスバレー）や日本福祉大、広域周産期拠点と連携し、予防医学・産前産後ケア・小児救急を強化**して「安心して産み育て、健康に歳を重ねられる街」を実現する。ハコモノに依存しない「人・文化への投資」とデジタル承認（NFTバッジ）を連動させ、若者の魅力的な雇用創出と「知多ナンバー」誕生へのシビックプライドを醸成する。

【政策提言体系整理】

構成項目	主要論点・政策思想（キーワード・具体策）
1. 政策背景・構造課題 （なぜ今必要か）	① **自治体間競争（パイの奪い合い）の限界と共倒れリスク**：近隣自治体の活力を吸い取る街は、いずれ大都市に吸い取られる側に回り衰退する構造的危機。他都市の後追いや税金浪費のハコモノ行政から脱却し、持続可能なソフト（文化・人・健康）投資への転換が急務。 ② **セントレア直結立地の未活用と少子高齢化・若者流出の深刻化**：国際空港から年間数百万人が訪れる一方、知多北部を素通りして名古屋へ直行する機会損失。若者が魅力を感じるナイトタイム産業の不足や、出産・育児・親の介護や医療不安が定住の障壁。
2. 政策アプローチ・内容 （具体的施策）	①**「知多リア・ゲートウェイ」創出（三位一体のウェルビーイング）**：太田川駅前で「365日フェス（常設マルシェ・音楽・日本最大級の占い横丁）」を展開し、心と運命を癒やす拠点を整備。半島の「発酵食・特産グルメ（食）」、「美」、「大府・長寿医療センター×日本福祉大（トキメキ・体・知・未病予防）」を融合したリトリート観光を確立。 ②**「安心して子どもを産み育て、健康長寿を誇る街」の広域医療基盤**：5市5町の医療機関・助産師・長寿医療センターと連携し、産前産後ケア無償化、24時間小児救急、認知症予防・未病健康づくりを一体推進。太田川で旅行客を迎え、名鉄・道路網で半田・常滑・大府・南知多等へ循環送客する「10ピース広域周遊エコシステム」を構築。
3. 行政の役割・施策 （公的支援・制度設計）	①**「知多半島広域観光・ウェルビーイング特区」の共同指定要望**：5市5町が連携し、公共空間（駅前広場・高架下）の商業利用、キッチンカー・夜間マルシェ・健康フェス規制緩和を推進。 ② **国交省「知多ナンバー（図柄入りご当地ナンバー）」導入の推進協議会創設**：半島74万人圏の一体感醸成とシビックプライド確立のため、共同推進協議会を立ち上げ、国へ導入申請。 ③ **空港アクセス鉄道等との「知多リア周遊チケット」官民共同開発**：知多北部での途中下車インセンティブ（飲食・占い・体験・周産期＆長寿医療サポート寄付付ききっぷ）の導入支援。
4. 期待される効果 （三方良しのインパクト）	**【東海市・知多北部全域へ広がる『三方良し＋全世代健康共生』の波及インパクト】** ① **市民・若者・全世代（安心と誇りの獲得）**：「子どもを安心して産め、親が元気に長生きできる街」の定住促進、週末を楽しめる刺激的な街、知多ナンバーへの愛着。 ② **商業・観光事業者（広域経済圏の潤い）**：インバウンド・県外客の滞在時間延長による消費単価向上、5市5町特産品（知多牛・醸造・海の幸等）の売上倍増。 ③ **行政・地域社会（持続可能な半島ブランド確立）**：ハコモノ投資に頼らない自立型観光の確立、健康寿命延伸による医療・介護費抑制、半島全体の人口定着。
5. ロードマップ （社会実装フェーズ）	① **Phase I（ゲートウェイ実証・代表作／～2028年度）**：太田川駅前「365日フェス＆占い横丁」社会実験開催、周産期・長寿医療連携協議会の設置、5市5町サミット提唱。 ② **Phase II（広域連携・ナンバー導入推進／2029年～2031年）**：「知多ご当地ナンバー」交付開始、10ピース広域周遊スタンプラリー本格運用、健康・子育て広域パスポート導入。 ③ **Phase III（国際ウェルビーイング観光圏確立／2032年～）**：「日本のイタリア」定着、セントレア直結の国際リトリート・健康長寿共生拠点化、半島横断型MaaS・広域経済圏完成。

出典：市民ボランティア活動「東海クロス・ラボ」7つに政策普及提案【政策提案 No.7】（20261110）